

## 第 35 回「桃陰文化フォーラム」ご報告

11月12日（土）午前10時から本校多目的ホールにて、松原友先生、佐野まり子先生をお迎えし第35回桃陰文化フォーラム「ドイツ歌曲の世界～シューベルトを中心に～」と題するリサイタルが開かれました。

例年、秋は芸術・芸能関係の催しですが、今回は5年ぶりのクラシック、それも第一線で活躍されているテノール歌手の松原先生、ピアノ伴奏に佐野先生をお迎えしての演奏会ということで期待はいやが上にも高まりましたが、期待以上のすばらしい演奏会になりました。



コンサートはシューベルトの「音楽に寄せて」で始まり、時に松原先生の軽妙なお話を交えながら『冬の旅』の「からす」までの8曲で休憩になり、その後『白鳥の歌』の「愛の使い」で再開、アンコールも含め全14曲を堪能しました。ドイツ語による歌唱でしたが日本語歌詞もつけてくださっていたのでより歌の世界に近づける感がありました。展開される歌曲の中に、北方の国ドイツの深い精神性、シューベルトの優しく繊細な人柄とそれに裏打ちされた芸術性を感じ取ることができた気がしました。

また、佐野先生の一音一音が粒だったきらびやかな音色、しっかり歌によりそった演奏にも魅了されたことです。

終演後、生徒たちから松原先生に活発な質問が寄せられ、それに丁寧に答えて下さるところに先生のお人柄と音楽にかける情熱を感じました。



出席者は生徒・保護者・卒業生等約名、日常なかなか味わえない芳醇な時間を過ごすことができたと思います。あらためてお二人の先生に感謝とお礼を申し述べるとともに、ご紹介の労を取ってくださった音楽科の密山先生にもお礼を申し上げます。また、会場準備や片付けなど、協力してくれた生徒の皆さん、係の先生方、どうもありがとうございました。